

地域にやさしい創意工夫のお店
ガイドブック



く る め
本業 + α 手帖



あなたの優しい + α がいい。

2021

わたしのできる **+α**

本業 **+α** プロジェクトって？

本業 **+α** プロジェクトとは、“本業”（商売）を営みながら、“**+α**” お客さんにとって何が必要かを考え寄り添い、一緒に歩み、さらに一歩踏み込んだプラスのアクションを行うお店の発掘、情報提供、ネットワーキング、応援を目的に立ち上がった久留米発のプロジェクトです。

2019 年から本格的にスタートし、2020 年度は、趣旨に賛同いただいた久留米市内の異業種からなる 16 拠点が加盟しています。活動メンバーの中心は、**本業 +α** の店主やスタッフが担っており、こうしたお店を久留米で増やしていこうとしています。

- ・“本業”…地域で持続していく営みの拠点。
- ・“**+α**”…お客さんをつくっていくさまざまな創意工夫のカタチ。
- ・“プロジェクト”…お店の発掘、情報提供、ネットワーキング、応援。

今、なぜ本業 **+α** が重要ななの？

この 40 年の間、日本の商店は 30 万軒以上減りました。特に個人商店や家族経営といった**地域の小さなお店**にとって、楽な経営環境ではありません。

一方で、生活の不安、育児の孤立、病気・障害などを一人で抱え込んでいるお客さん、住民の方が大勢いらっしゃいます。お店にもお客さんにも困難な時代です。

しかし、だからこそ、売上や効率の追求と他者への思いやりを結ぶ、**地域のお店とお客さんが一緒に寄り添う “+α”** の取組みが、これからの**商売にとって重要になる**のではないのでしょうか。モノやサービス売り買いする関係から、一緒にさまざまな困難を乗り越えたり、一緒に豊かさをつくったりする関係へ。わたしたちは、商売とまちの未来をこのように考えています。

本業+αのさまざまなカタチ。



本業+αと一口に言っても、その内容や取り組みは、お店ごとに多彩です。ひとつひとつお店ごとに業種も規模もお客さんのニーズも異なる上に、お店とお客さんの時間と、創意工夫によって醸成、育まれてきたものだから。効果的な協力関係やイノベーション、優れたサービスの根幹になっています。

中央町

1



「ただいま」と「おかえり」が 言い合える関係づくり。

創業 104 年の老舗、久留米絨と駄菓子「西原糸店」。常連さんや近隣住民の郵送物の預かりから、子どもの見守りまでを引き受けるなど、おたがいさまの拠点。地域の「もう一つの我が家」のように親しまれている。

津福本町

2



人生の始まる前から 最期までお隣に。

オムツケーキを通じて、妊娠期のママから繋がり、生まれた後も親子で通える自宅開放型美容サロン「みんなのサロンSORA」。心に寄り添う文化があり、長いお付き合いの末、人生の最期を看取ったお客さまも。

莊島町

3



やりたいを一緒に応援する 困難な時こそ一緒に。

珈琲店「gucchi 珈琲」。
お店全体を、お客さまのチャレンジできる場所に。
城島町の店主ご自宅が、2度床上浸水。聞きつけた
お客さまからの支援を受け、困難を乗り切った。



行政も一緒に 本業+αでつながる コーディネート。

コミュニケーションが苦手で、感覚過敏を持つ
子どもを抱えるお母さんが散髪先を探して行政窓口にご相談。
行政で本業+αの取組みと冊子を紹介され、
お母さんは「みんなのサロンSORA」に連絡。
しかし、散髪はやっていなかった。
そこで、長年強度行動障害を持つ方の
散髪を行う「みどり美容室」を案内。
30分くらい店内を歩き回る
子どもが落ち着くまでじっくり
待ってカットデビューが実現した。



この他にも、親や学校の先生以外の関係性で地域の子ともと交流する大人サポーター、駄菓子屋「池田商店」、
親子関係のメンタルケアになるサードプレイスを提供する、親子パン教室「Peek a boo!」など、
まだまだ地域には、素敵なカタチの本業+αがあります。

本業+αガイドライン。

2020年度わたしたちは、**本業+αガイドライン**（大切にしたいこと）について検討を重ね、今後の広がりを目指して、以下の5つに整理しました。

1

気軽に通えて、安心感のある居場所（お店）である

誰もが気軽に通えて、愛着や安心を持つことができるお店である。オープンな雰囲気の中、お客さんがありのままでいられたり、違いを表現できる文化がある。

2

お店とお客さんが一緒に考え、一緒に歩むことができる

お店独自の+αのアクションが行われつつ、お店とお客さん双方が一緒に考え、歩む関係が時間とともに培われているお店である。結果、そうした関係が伴走支援になることも。

3

まちの未来について大切に考えている

お店の人や関わる人たちが「より豊かなまちの未来」を創造している。結果、関わる人が増え、誰かのセーフティネットになったり、生きがいの充実にもなっている。

4

まちの小さなお店である

個人商店や家族経営といった地域に密着した“まちの小さなお店”である。代えがたい魅力があったり、いつものご店主・常連客がいたりして、また来たくなる理由がある。

5

公費に頼らない

継続的な税金や補助金の支援がなくても、自らの知恵と工夫、そして周囲の協力を呼び込みながら自立して経営し続けることができるお店である。場合により行政とも連携する。

本業+αのお店でなくても、地域・社会貢献を行う企業はたくさんあります。

ただ、わたしたちは、新たな価値観を提示することが重要だと考え、

本業+αにおいて大事な観点をまとめました。

もちろん、わたしたちが知らない**本業+α**はまだまだあるはずです。

なので、このガイドラインは今後更新される余地があるものだとご理解ください。

本業+αプロジェクトメンバー紹介



本業+αプロジェクトは、本メンバーを中心に、活動をおこなっています。

代表



西原 健太
「西原系店」

お客さまと寄り添う+α。地域のお店と育む+α。かつての商店では当たり前の人情豊かな風景だったと思います。改めて、久留米から始まるこの動きが、全国に拡がることを夢見ております。

副代表



村谷 純子
「みんなのサロン SORA」

子どもたちの笑顔は人のつながりが必要不可欠。大人たちが心から笑い、充実しているとまちに活気が溢れ、子どもたちが豊かに成長していきます。その一歩が+α。



江口 掌花
「アトリエ fude-asobi」

時間をかけて心に寄り添い続ける事で、お互いの必要な「今」が見えてきます。一緒に見出し、創りあっていくエネルギーが、私の中の+α。



西田 実世
「COLOR STYLE」
お片づけパーソナルアドバイザー

+αのエネルギー源は、あなたの笑顔が見たいから。ここであなたに出来ることは何だろうと応援し寄り添うつながりを見つけました。



山田 弥佐
親子パン教室「Peek a boo!」

暮らしに寄り添い、生活を心豊かにしていく志が+αの想い。人によって、扱うものによって、わたしにできるを変化してきた結果の積み重ね。



秋満 美沙子
「ぶらっと・荘島」

それぞれの+α(わたしのできること)が集まれば大きな力に。つなぐ手を増やしながら魅力ある街づくりへ！



馬場 篤子
「社会福祉法人拓く」

わたしの実家は、元小料理屋。お客さんがお兄さんのように勉強を教えてくれたり、遊んでくれたりと、それで、寂しくありませんでした。本業の家族にも+αが・・・



藤野 薫
「久留米市 手をつなぐ育成会」

人のやさしさ+αの場所があちこちに溢れるまちは、誰にとっても素敵。その場所での新たなつながりが魅力です。



「久留米のみなさん」

時間をかけてコミュニケーションし組織や枠組みを超えて連携していく仲間を募集しています。きっと未来で求められる本業+α。ぜひ、一緒につくりましょう！

さんず のー えんど

農業・農園 Sun's No End

旧、廣重兄弟農園

久留米市荒木町荒木 1652-1

営業時間／08:00～17:00

定休日／不定休

090-9729-6382

農業・農園 +α

仕事も遊びも 120%。

気軽に立ち寄れる農家。



- 農業の傍ら収穫体験を行っていて、障害を持つ子どもたちとそのご家族や、保育園、老人介護施設など様々な方々が参加されています。車いすのお年寄りが、昔を思い出されたのか急に立ち上がり、芋掘りをはじめた時は施設の方もびっくりされたそうです。
- 以前、野外体験施設に勤務されていた廣重宏治さん。農業体験で生き生きしている子どもたちを見て「これだ!」と思い4年前に起業。老若男女、土（自然）と触れ合う事で心をいやしてもらいたいと考えています。
- 「農業はたくさんの夢を実現するためのツール」と語られているように、目標は畑を利用して音楽フェスを開催すること。その他にも、農業と自然、音楽、そして人を結びつけるたくさんのアイデアをお持ちで、今後の展開がとっても楽しみです。



左から、田中将丈さん（先輩）、店主 廣重宏治さん（兄）、直樹さん（弟）、深幸さん（母）。

お客さまの
お声

不安で大号泣だった子どもと一緒に、はじめての芋掘り体験に参加しました。土の中の芋を見つけると、にこにこ笑顔に。生き生きと最後まで掘り続ける姿に、みんなで嬉しくなりました。

輪をつくろう 上村友紀さん

鮮魚店

いしばしせんぎょてん

石橋鮮魚店

鮮魚店 + α



久留米市荒木町荒木 851-10

営業時間 / 09:00~19:00

定休日 / 日曜・祝日

0942-27-3345

家族ぐるみの付き合いから食育まで。

地域の人たちに寄り添っていく魚屋さん。



- 小学生がいつも石橋さんに手を振って帰宅する。常に地域を見守っている日常。
「家の鍵を忘れた！お店で待たせて！」「そこで宿題ばしとけー」というあたたかいやりとりも。保育園や小中学校に魚を卸している関係で食育の授業もおこなっています。
- 現在3代目の石橋さん。お父さんのお手伝いをしていくうちに自然と魚屋を継ぐことに。
お父さんへの恩返し、自分を支えてくれた魚と地域への思いが大きいとのこと。
また、久留米市消防団本部分団長もされています。
- お客さまの年齢や体調、家族構成まで分かっているため、それぞれに合わせて魚の切り分けや骨取りを行っています。付き合いが数十年になる地域のお年寄りなどに
近くの八百屋さんと連携して、電話で注文・配達を実施していました。



お客さまの
お声

結婚して以来、40年の付き合い。
いつも魚はここで買っている。
特にお刺身は石橋！他は食べられん！

古賀信子さん

左から、安恵さん(奥さん)、店主 石橋利晴さん。

だ・しげっていの

ピザ屋 **ダ・シゲッティーノ**

ピザ屋 + **a**

久留米市荒木町荒木 1966-7

営業時間／ランチ 12:00～14:00

ディナー 18:00～21:00

定休日 / 不定休

0942-26-1113

ひとり親の悩みを分かち合える場所へ。
希望をつくる本格ナポリ・ピザ店。



- 新型コロナの緊急事態宣言中、ひとり親家庭へ、ナポリ・ピザを無償でプレゼント。2020年にご店主自身が父子家庭になり、支えて頂いた方々への感謝の気持ちから。ひとり親の悩みが分かち合え、笑顔が広がる場所をつくりたいと考えています。
- お店ではピザ生地の味を感じてもらいたいという思いから、タバスコや蜂蜜は置いていません。ある日、「孫に蜂蜜をつけたピザを食べさせたい」と電話があり、蜂蜜を特別に準備。当日、お孫さんは蜂蜜なしでも美味しく召し上がったそうです。
- 目指すのは、子どもたちから気軽に「ピザ屋のおじちゃん」と呼んでもらえること。「子どもたちともっと関わりたい」「将来の職業選択肢のひとつになれば」と夏休み中の親子を対象に、子どもピザづくり教室をおこなっています。



店主 永松重剛さんとご家族。
2020年2月、奥さんを亡くされた。

お客さまの お声

友達の家に遊びに来たような雰囲気の店内。
そこで頂くピザは本格的。イタリアで修行し
認められたナポリ・ピザ、マルゲリータを
ぜひ味わって欲しい。ひとり親支援も心から
応援しています！

吉山美知代さん

珈琲店

久留米市荘島町 1-13
営業時間 / 10:00~19:00
定休日 / 木曜・不定休
090-2513-3881

ぐっち こーひー
gucchi 珈琲

珈琲店 + α



わたし + α

人生のやりたいことがスタートし
人と人の違いの豊かさを味わう珈琲店。



- お客さまは高校生から 80 歳代までと幅広く、9 割が女性で、ほぼお 1 人で来店。
1 人暮らしの高齢者やご近所さんも通う、気楽に「素」のまま過ごす珈琲店です。
「ここに来れば誰かいる」と、人と人のつながりの機会が生まれ続けています。
- 野口さんは、お客さまと一緒にお店をつくっていく仲間とっていて、
「それいいですね！やりましょう！」と背中を押しています。2 階チャレンジスペースの
場所代は無料。さまざまなお客さまが、毎日のようにイベントを主催しています。
- ご夫婦の楽しみは、高齢者施設などで、心を込めて淹れた珈琲の香味を味わっていただく
ボランティア活動です。「今後、いろんな施設で行っていきたいね」とお話されます。
人生のほろ苦さ、学びの多彩さ、可笑しさが混じり合う時間を提供しています。



左から、店主 野口嘉昌さん。聖子さん(奥さん)。

お客さまの
お声

ここに入出入りする人は変わっている人？が多い。
でも、はじき出すのではなく、変わっている
ところを共有できる場所。店主も客同士も距離が
近い感じです。カフェだけどカフェじゃない場所。
ここには愛しかない！

上原まりさん

みどりびようしつ
美容室 **みどり美容室**

久留米市市花畑1丁目5-10
営業時間／10:00～18:00
定休日／月曜 第1第3火曜
0942-32-5446

美容室 **+α**

人を排除しない空気感。
確かな技術と、寄り添いの蓄積。



- 技術の高さもさることながら寄り添い方の誠実さ、人を排除しない空気感があります。17年前に、動作や声量が大きい感覚過敏を持つ自閉症男性のカットの依頼を受けて以来、同じ悩みを抱える方が多数通われています。
- 店長の中村房子さんは3代目。お母さまの代から続くお客さまと、紹介でのお客さまが大半で、30年以上通う方もいらっしゃいます。柔らかい受け応えが心を和ませる、お客さまとスタッフが一緒に年月を刻んでいく美容室です。
- 「わたしが死ぬまで開けといて」、お客さまから言われた言葉。美容だけに留まらず、日々の潤いや憩いを提供し、お客さまの“日常の出来事をさりげなく語る”という自分史を積み重ねていく場所です。



店主 中村房子さん。

お客さまの
お声

自分のこと、子どものこと、
そして家族のことを知ってもらっている
居心地のいい場所。

川原余志子さん

オープン
スペース

ぶらっと どっと しょうじま
ぶらっと・荘島

久留米市荘島町 9-10

営業時間 / 09:00~17:30

定休日 / 土曜・日曜・祝日 ※予約時などは開店。

0942-65-5922

オープンスペース +α

ちょうど良いカウンターの距離感。

子どもも保護者も「ほっ」とできる場所。



わたし +α



- 「ぶらっと・荘島」は、2020 年、元々料理屋だった古民家をリノベーションし、お1人から団体まで低料金で利用できるオープンスペースとしてスタート。横並びのカウンターが特徴で、気軽に横に座る人とのお喋りが生まれています。
- 同じ建物内に、児童発達支援事業所「**出会いの場 Leo**」が併設されており、保護者同士のつながりや子どもとの斜めの関係（親でも先生でもない大人との関係）が育まれています。「Leo」卒園後も「ぶらっと」で宿題をしながら過ごす子どもを見守る予定です。
- 障害をもつ子の先輩親と、ちょっと心配なことを語り合う「きんようほっとカフェ」（久留米市手をつなぐ育成会主催）など、様々な取り組みの拠点になっています。また、多様な市民団体をつなぐ会議の場所として、活用が広がっています。



スタッフ 秋満美沙子さん。

お客さまの
お声

朝、「Leo」に子どもを預けた後、「ぶらっと」に寄っています。秋満さんと育児の話など、たわいもない雑談をしてる内に、いつの間にか明るい気持ちに。子どもたちの声や歌が聞こえてきて、元気を貰っています。

壽福菜実さん

本業+α 2020年度の取組み。

本年度、**本業+α**プロジェクトで実施した活動の一部をご紹介します。最大の成果は、メンバー同士で時間をかけ対話を繰り返したことによって、**本業+α**の重要性を改めて共有でき、チームとしての結束力が生まれたことです。

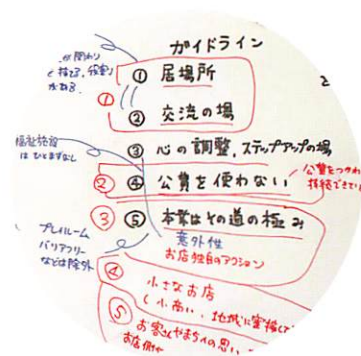


本業+αの お店の掘り起こし、 ガイドライン&リーフレット作成

2020年11月より、

本業+αプロジェクトメンバーによる
定期的な会議がスタート。

「**本業+α**ってなに?」「そもそもなんで大事なの?」
などについて対話を重ねて、本紙を作成しました。
また、10拠点以上の久留米市内のお店を取材し、
新たに6店舗の**本業+α**のお店が加わりました。



本業+α プロジェクト オンライン講演会。

2021年3月8日、**本業+α**のお店や行政機関などを対象に、
介護や生活困窮に関する現状について学ぶ研修会を実施。
当日は千葉県「中核地域生活支援センター がじゅまる」
朝比奈ミカセンター長の講演のほか、**本業+α**プロジェクト
を含めた久留米の実践報告をおこないました。



くるめオンライン公民館での 活動報告会。

2021年3月14日、「くるめオンライン公民館」において、
本業+αプロジェクトの活動の紹介をおこないました。
当日はメンバーが勢ぞろいで、**本業+α**プロジェクトの
概要や、**本業+α**のお店紹介、それぞれのメンバーの思い、
プロジェクト自体の今後の展望など、たっぷり60分語り
つくしました。

本業 +α 既存店 2020年の1年。



2019年、コロナ禍におけるこの1年、**本業 +α** プロジェクト開始時より仲間になった10拠点の紹介と同時に、どのような変化や工夫をおこなっていたのかをご紹介します。

池田商店

久留米市荒木町白口 1888-11
0942-26-2248

パン・駄菓子屋 +α

今も変わらず、次々と子どもたちが元気に挨拶をしながら来店。
1時間営業を早め、子どもたちの居場所を優先していました。



からいち

久留米市津福本町 846-3
0942-32-5555

からあげ屋 +α

コロナ禍だからこそ、ほっこりして頂けるよう2階の子どもスペースを
リニューアル。また3階もレンタルスペースとして始めました。



cafe Peace 倉庫

久留米市津福今町 249-38
080-3186-8100

カフェ +α

お客さまから守ってもらっているお店だと自覚しました。
温かい声を頂く事も多く、おかげで前向きな気持ちで営業に向かえました。



農と音 nooto 1号店・2号店

久留米市諏訪野町 2570-9 高村ビル1F / 1号店
0942-80-5125
久留米市宮ノ陣町大杜 1485 / 2号店

八百屋カフェ +α

宮ノ陣の実家の倉庫を次のステージに2号店をオープン。不親切設備、
無計画、カテゴリーフリー。サクラダファミリアのように、つくりながら
常に創造する場所。完成図はあなたの中に？誰かと一緒に？描いてOK。



親子パン教室 Peek a boo! 久留米教室

久留米市津福本町 502
090-7581-0037

自宅開放型 / 親子パン教室 +α

LINE グループ通話で絵本読み聞かせや折り紙制作、新たにオンラインレッスン
にも挑戦。週に一回程度、開放日を設けて遊び場の提供を10月より開始しました。



アトリエ fude-asobi

久留米市城南町 19-32
090-8347-1243

書道教室 +α

書道教室という概念を超えて、人とのつながりや癒しの場として
開放日を決めてキッズルームやフリースペースを設けました。



みんなのサロン SORA

久留米市津福本町 116-44
0942-34-9830

自宅開放型 / 美容サロン +α

子ども達の遊び場も制限される中、『SORA ちびっこ広場』をオープン。
カラフルなお花達が親子を優しく受け入れてくれます。



Coco Cafe -relief-

久留米市御井町 1657
0942-41-1155

キッズ&ベビーカフェ +α

子育て世代のお客さまに、来店時の消毒などの協力を行っていただきました。
個室をつくり、換気やおもちゃやお席の消毒、テイクアウトなどを始めました。



西原糸店

久留米市中央町 35-1
0942-34-1861

久留米餅と駄菓子 +α

一度に店内に入れる人数制限を設けたことで、以前にも増して
子どもたちの言動に目が行き届く環境となりました。



革ノ花宗

久留米市津福本町 1649-4 みなとビル103
0942-55-9363

本革専門店 +α

飛沫防止対策を万全に体験教室を実施。オンラインレッスンなど楽しい
思い出になるよう企画にチャレンジ。革のマスクホルダーなど開発・展開中。



本業+αプロジェクトに向けたメッセージ。

本業+αプロジェクトにご協力頂いてるみなさんからのメッセージをご紹介します。

本業+αを広げ、子育てしやすいまちへ。

久留米市子ども未来部家庭子ども相談課

私たちは、毎日、子育てのご相談をお受けしています。保護者の方から、子育ての不安や困りごとなどをお伺いしていると、人と人とのつながりの希薄化を肌で感じる場合があります。今回のプロジェクトを通して、本業を活かした「立ち寄れる場所」「居てもいい場所」が数多くつくられ、そこでは、心地良いつながりが築かれていることを知りました。今後、**本業+α**を子育てしやすいまちづくりの推進につなげていきたいと考えています。



久留米から、新しい「地域支え合い」のかたちを！

早稲田大学法学学術院教授 菊池馨実

「地域共生社会」が、日本の社会保障のテーマになっています。孤立・孤独が社会問題化し、さまざまな困難を抱える人びとを地域で支えることが求められ、その担い手として、専門職のみならず地域住民の役割も期待されています。でもそうした役割は、日常の生業や暮らしの中での支え合いやつながりがあってこそ、発揮できるものでしょう。**本業+α**は、そうした「地域支え合い」の新しいかたちを、久留米から発信するプロジェクトです。これからの発展に目が離せません。



ケアする文化の発信拠点としての「お店」の可能性。

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科教授 堀田聡子

ときにお店とお客さんだからつづやける。ときにおなじまちの生活者だからつづやける。地域密着のお店はまちの宝物。**本業+α**プロジェクトは「お店」を手がかりに、人間的なかわわりと営みを取り戻し、一人ひとりのつづやきをカタチに、チャレンジをワクワクに替えていく活動なのだと思います。各地の商店の風景を変えていく可能性を秘めた活動の広がりを、楽しみにしています！



本業+αプロジェクトより、ありがとうございました！



本業+αプロジェクトは、2020年度、414人の方々からご支援金とご協賛金をいただき、活動をおこなうことができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

みなさまから頂きましたご協賛金とご支援金は、今年度及び来年度の活動費などに大切に使用させていただきます。みなさまからのご支援、ご協力を励みに、

これからもメンバーが一丸となって、本業+αのお店が溢れる久留米のまちを目指していきます。



チャリティーシクラメンの販売 2020年12月、350鉢のご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございます。

ご協賛・ご支援を頂きましたみなさま。

有限会社ポップ・ン・アート、みんなのサロン SORA、みんなのサロン SORA スタッフ一同、天野正雄、古賀徹、アド・メディア・システム合同会社 代表 国分辰美、農事組合法人 中部農園 会長理事 田中光雄、山田建築、久留米市手をつなぐ育成会、金子みゆき、廣重深幸、藤野明、藤野崇、上村友紀、山口栄子、渡邊健蔵、湯浅俱子、宮井久美子、秋満晴香、Six KING & QUEEN、いやしのき整骨院、メガネのとらや g・room、株式会社島建、楽農ファームたけした、製茶所山科、株式会社ダイコー、江口卓司法書士事務所、アトリエ fude-asobi、江口掌花、廣岡睦、一般社団法人体現塾協会、Coco cafe -relief-、POLA THE BEAUTY 久留米明治通り店、Peace 倉庫、タカノ寝具、COLOR STYLE お片づけパーソナルアドバイザー、西田実世、株式会社西原糸店、西原健太、西原佳江、合同会社 H&A brothers、池田商店 IKESYOU、親子パン教室「Peek a boo!」久留米教室、cotoR (コトリ)、Bridal Road (ブライダルロード)、Law-Law's Cafe、社会福祉法人拓く、ボレボレ倶楽部、古賀博美、白石愛美、本川有香、gucchi 珈琲、みどり美容室、出会いの場 Leo、ぶらっと・荘島、中央印刷株式会社、(順不同、敬称略)

この他、たくさんの方々よりご支援いただきました。誠にありがとうございます。

●他にも本業+αのガイドライン作成・冊子制作で、取材協力をいただきました。

- ・城南町／いけばな教室 QUALIA ・東合川町／ヘアーリゾート ネクスス
- ・城島町浮島／末次ホルモン ・城南町／古賀クリーニング ・野中町／ぼんたこ

●本冊子は、2020年度 久留米市市民活動・絆づくり推進事業費補助金の助成を受けて制作されています。



本業+αプロジェクトに、ご協力をお願いいたします。

2019年のスタート以来、本業+αプロジェクトの活動は、たくさんのお店からのサポートや個人・企業などからの寄付・協賛によって支えられています。今後も世代や枠組みを超えて、多くの人に愛される活動を目指していきます。

ご支援・ご協力のかたち

◆ 本業+αのお店に関する、情報提供をお待ちしています！

本業+αプロジェクトでは、「このお店は本業+αかも!？」という情報を募集しています。また、お店の方からの自薦でもかまいません。お気軽にメール → hongyou.project@gmail.com までご連絡をお願いいたします。

◆ 本業+αプロジェクトの活動を支えて下さる会員を募集しています！

本業+αプロジェクトでは、久留米のまちに継続的に貢献していくために、活動を支えてくださるサポーター（会員）を募集しています。サポーターの方を対象とした特典も。詳細は下記 QR コードよりご覧ください。

- ・個人サポーター 年会費／一口 3,000 円～
- ・商店・法人サポーター 年会費／一口 6,000 円～

※個別のご協賛・ご寄付もお待ちしております。（電話：0942-34-9830）

お振込先 福岡銀行 久留米営業部 普 3033750 本業+αプロジェクト



本業+αプロジェクト（みんなのサロン SORA 内）

住 所：〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 116-44

電 話：0942-34-9830 / 080-3996-4211

メール： hongyou.project@gmail.com